

2025年度（令和7年度）事業報告書

2025年（令和7年）4月1日～2026年（令和8年）3月31日

1. 概況

一般社団法人埼玉県知的障害児者生活サポート協会会員のみなさまにご利用いただいている「生活サポート総合補償制度」は、2025年度4月より中長期的な安定と発展に向けて、制度改定を実施しました。補償プランの改定とともに保険料も値上げしましたが、「生活サポート総合補償制度」は、知的障がい児者・発達障がい児者とその家族の安心安全な生活を守る手立てとして、なくてはならないものになってきており、会員数は初めて1万人を超えました。

2024年度後半より、制度改定への理解と会員拡大に向け、株式会社ジェイアイシーと連携して、特別支援学校での説明会や未加入の施設へDM配布等を実施しました。

また、障害がある方の自立を支援する団体「NPO法人クッキープロジェクト」に広告協賛団体として応援参加を続けると共に、「一般社団法人埼玉県障害者スポーツ協会」の賛助会員も継続して、当協会の周知を進める活動を実施しました。2025年度助成金交付事業では、11件777,214円の助成金交付を支部へ行いました。

2025年6月、当協会が加盟している一般社団法人全国知的障害児者生活サポート協会は、協会名を一般社団法人全国生活サポート協会へ変更しました。これに伴い当協会名も、一般社団法人埼玉県生活サポート協会へ変更することが、2026年3月の理事会にて承認されました。

2. 事業

（1）会員拡大に向けた活動

2025年度新規加入者 1,418名、2025年度末会員数 10,302名

2025年度 プラン別会員数 ①4,607名 ②3,140名 ③1,258名

④ 379名 ⑤ 918名

（2）支部長会・研修会

日時：2025年12月2日（火）14：00～16：30

場所：さいたま共済会館6階 602会議室 参加者50名

支部長会：会員状況・助成金交付制度について、支部紹介

研 修 会：「生活サポート総合補償制度2025年度改定」について

講師：株式会社ジェイアイシー 本社第二営業部

（3）広報に関する活動

会報誌「埼サポ17号」を2025年12月に11,000部発行した。

会員の方々にとって読みやすく親しみやすい内容となるよう、オールカラー8ページで印刷、配布した。また、会員の方から寄せられた2025年度アールブリュット展140作品を会報誌とホームページで紹介した。

（4）助成事業

2025年度助成事業は、実施11支部777,214円となった。助成金交付事業制度の実施に当たっては、地域との交流を行うなどオープンな形での事業実施が求められることから、助成金

事業規程の一部を改正し、新たな助成金事業規程に基づき応募を行なった。

	申請団体	実施日	助成金額
①	草加光陽育成会	9/20	52,880
②	久喜市栗橋手をつなぐ育成会	7/9、9/14	99,687
③	社会福祉法人日和田会	6/17	100,000
④	深谷市手をつなぐ育成会	9/5	30,000
⑤	光の家療育センター	9/3～9/7	100,000
⑥	社会福祉法人 久美愛園	10/18	57,636
⑦	上尾市手をつなぐ親の会	10/12	44,984
⑧	社会福祉法人清心会	12/7	100,000
⑨	白岡市手をつなぐ親の会	12/10	40,000
⑩	社会福祉法人啓和会	3/19	52,027
⑪	さいたま市手をつなぐ育成会 浦和地区支部	3/14	100,000

① 支部：草加光陽育成会

事業名：「防災講演会」

目的：災害時に落ち着いて行動できるために、どうすればよいのかを考える機会にする。

成果：草加市危機管理課の職員に、障がいを持つ方、支援の方向けに、具体的な備えについて資料にもとづきわかりやすく説明していただいた。草加市の取り組みや自分たちのやるべきことが分かった。今回だけでなく、3年に1回は繰り返し講演会、またはワークショップ等を行っていきたい。

② 支部：久喜市栗橋手をつなぐ育成会

事業名：「CAPスペシャルニーズプログラム」

目的：障害児・者が、あらゆる暴力（いじめ・誘拐・性暴力等）から自分の心と体を守るためにどのようにしたらよいか、考え実践できるようにする。また、保護者、学校、行政職員、地域の支援者が、人権や自分を守る方法を本人にどう伝えていくか、本人が被害に遭った時の対応等について学ぶ機会とする。

成果：障害児・者が、あらゆる暴力（いじめ・誘拐・性暴力等）から自分の心と体を守るためにどのようにしたらよいか、実践的に学ぶことができた。また、保護者、学校、行政職員、地域の支援者が、人権や自分を守る方法を本人にどう伝えていくか、本人が被害に遭った時の対応等について学ぶことができた。ご本人、支援者とも、今後も定期的に開催してほしい、地域に広めてほしい、幼稚園、学校でも開催してほしいと積極的な感想が多かった。

③ 支部：社会福祉法人日和田会

事業名：「社会福祉法人日和田会主催 福祉を考える市民講座」

目的：障害者を取り巻く現状について市民の方に広く知ってもらうための場とする。

障害者問題について、障害者や家族の思いを聞くことで、一緒に考えることができるような場とする。

成 果：講師に植草学園副学長の野澤和弘氏を招き、講師自身の家族の話、福祉施設における虐待の話、津久井やまゆり園の話などを通して、これからの共生社会の在り方を学ぶとともに、一人ひとりの存在とその価値について考える機会となった。

④ 支部：深谷市手をつなぐ育成会

事業名：「第2回街づくりにおける障害福祉事業所の在り方 ～地域連携推進会議を深める～」

目 的：事業名の実践者の講演

成 果：グループホーム入所施設、放課後デイ、相談支援など57名が参集し、地域共生の在り方、推進会議の進め方などを学んだ。

⑤ 支部：光の家療育センター

事業名：「尾ヶ井保秋 中崎強 2人展 出逢った人に捧げる展覧会」

目 的：光の家療育センターに入所して生活しながら、ともに創作活動を行う二人が、いままでかわりを持って活動を支えてくれた人たちに感謝を伝えたいというテーマに作品展実施する。

成 果：2人展に出展された作品は、52点であった。二人にとって作品の制作を継続することは、自らを表現する機会となった。作品の出展者である二人が3日と6日に会場を訪れたことにより、自分たちの作品作りを支えてきた支援者やSNSや新聞記事掲載等の広報活動を通じて初めて知り得た来場者等との交流の機会を得られた。

⑥ 支部：社会福祉法人 久美愛園

事業名：「講演 適切な意思決定支援について」

目 的：令和8年より入所施設を利用する全ての方に地域移行や日中活動の意向を確認する義務が発生する。そこに向けて意思決定支援の内容を職員、ご家族で学ぶ機会とする。

成 果：参加者はオンライン視聴も含め100名を越える参加者と、久美愛園職員には後日録画を視聴していただき多くの方に聞いていただく機会を持てた。また講師の先生の迫力ある講演や、今まで取り組んでこられた実績から説得力ある講和となり、保護者もチームの一員として本人への意思決定支援に参加する必要がある等、ご家族等には少し耳の痛いこともあったかもしれないが、皆で真剣に学ぶことができた。

⑦ 支部：上尾市手をつなぐ親の会

事業名：「本人活動事業 スポーツフェスティバル」

目 的：障害のある子の親・兄弟の関わりを余暇活動を通じて地域の方に理解してもらう。

成 果：バリアフリービークスの講師に来ていただき普段体の動かすことが苦手な障害のある方、違った事業所の利用者と親、ボランティアとして参加して下さった支援者と地域の方々との交流の場となった。動きはそれぞれでしたが、みんなの笑顔はとても素敵だった。

⑧ 支部：社会福祉法人清心会

事業名：「アールブリュット展－日常とアートの狭間－ 福祉とアートのこれまでとこれから」

目 的：障がい者アートについて理解を深める機会をつくる

成 果：松田文登氏からは、「障がいがあっても、ありのままでいられて、当たり前肯定される世界をアートを通して実現する」という（株）ヘラルボニー様の企業理念と、その実現に向けた熱い思いをご講演いただいた。また、現在開催中のアールブリュット

展の参加作家に関する具体的なエピソード紹介や、作家ご本人を交えたトークイベントも実施され、参加者にとって今後の参考となる大変実りある時間となった。

⑨ 支部：白岡市手をつなぐ親の会

事業名：「白岡市障連協『市民公開講座』成年後見人制度についてみんなで学ぼう」

目 的：成年後見制度の正しい理解と活用促進、「後見人ができること、できないこと」の明確化、制度改正の動向と利用者視点での考察、個人後見と法人後見の違い、注意点の観察

成 果：障害のあるなしに関わらず誰もが共に生きる地域社会をめざし、障害者と家族が抱えている問題とその解決などについて市民の方々と一緒に学ぶ市民公開講座となった。今回は成年後見人制度をみんなで学ぼうをテーマに、成年後見人制度の現状や課題等を学ぶ機会として開催した。開催にあたり、市の公共施設でのポスター掲示、地域の障害児者施設、事業所、駅（JR）、スーパーなど、多くの事業所でのポスター掲示にご協力いただいた。当日は、当事者や障害児者の家族、市民の方などに参加いただいた。

⑩ 支部：社会福祉法人啓和会

事業名：「けいわのさくひんてん」

目 的：利用者が作品作りの楽しさを感じ、日々のモチベーションに繋げながら、展示会を通して、地域の方々に観てもらい交流を深める。

成 果：チラシやポスターを配布し、地元の広報誌や新聞に記事を掲載し、開催を宣伝した。当日は久喜市長及び県議会議員を始め、利用者や保護者また今年は他法人や他事業所の方々の来場も多く目立った。今年もケーブルテレビ久喜の取材を受け、利用者へのインタビューを行い、制作への思いを熱く語った。ワークショップでは、「ペーパークイリングアート」と「壁面装飾アート」の2つを出店。当日は来場者が次々に参加し大盛況となった。会場で、作品を見学しながら、ワークショップではアートに触れ、たくさんの人達と一緒に制作することで、地域の方々との交流も生まれた。

⑪ 支部：さいたま市手をつなぐ育成会 浦和地区支部

事業名：「第12回 どーなつ（本人と家族が楽しむ会）」

目 的：会員、会員外の一般の方を対象に、運動不足解消や仲間づくり、交流を目的として、週末の余暇活動でダンスを楽しむ。

成 果：講師9名と、子どもから大人まで35名の参加者が、DA PUNPの「U. S. A」のダンスを部分練習後にみんなで楽しく踊り、とても盛り上がった。参加者からは、「ステージ上のダンスが楽しかった」「みんなで踊れて楽しかった」「またやりたい」との感想があった。講師や一般の方に、障害者を理解していただく事もできた。

3. 会議の開催

（1）定時社員総会

第12回定時社員総会

日時：2025年6月17日（火） 10:00～11:15

場所：埼玉会館 5D会議室

審議事項： 第1号議案 2024年度事業報告承認の件

第2号議案 2024年度収支決算報告承認の件

第3号議案 2024年度監査報告承認の件

第4号議案 理事、監事改選の件

- 報告事項： (1) 代表理事、副理事長選任について
(2) 2025年度 事業計画について
(3) 2025年度 収支予算について
(4) 運営規程改定について
(5) 2025年度 支部長会・研修会日程について

(2) 理事会

① 第1回理事会

日時：2025年5月16日（木） 10:00～11:30

場所：埼玉会館 5D会議室

- 審議事項： 第1号議案 2025年度事業計画（修正案）、収支予算書（修正案）について
第2号議案 2024年度事業報告について
第3号議案 2024年度収支決算報告について
第4号議案 2024年度決算監査報告について
第5号議案 理事、監事改選に伴う役員の推薦について
第6号議案 運営規程改定について

② 第1回臨時理事会

日時：2025年6月17日（火） 10:30～10:45

場所：埼玉会館 5A会議室

- 審議事項：第1号議案 代表理事・副理事長選任について
その他事項：2025年度支部長会・研修会日程について

③ 第2回理事会

日時：2026年3月24日（火） 10:00～11:50

場所：埼玉会館 6D会議室

- 審議事項：第1号議案 2026年度事業計画（案）について
第2号議案 2026年度収支予算（案）について
第3号議案 2026年度サポート協会会議日程について
第4号議案 協会名称変更について
第5号議案 役員賠償責任保険について

(3) 監査会

日時：2025年5月8日（水） 13:30～15:00

場所：埼玉県知的障害児者生活サポート協会

監査実施事項：2024年度事業報告、収支決算報告について

4. 全国知的障害児者生活サポート協会および関東甲越ブロックとの連携

(1) 全国生活サポート協会主催 アールブリュット展に応募

埼玉県生活サポート協会への応募数は、12支部140作品。全国生活サポート協会規程では、各サポート協会5作品までの推薦枠であるが、埼玉県生活サポート協会への応募作品数は全国でも非常に多いことから、10作品を推薦応募した。推薦作品より2作品が、全国生活サポート協会制作の2025年カレンダーへ掲載された。

(2) 全国サポート協会 2025年度定時社員総会へ出席

日時：２０２５年６月５日（木）１２：３０～１４：３０

場所：品川区総合区民会館（きゅりあん）

出席：長岡 均理事長、吉川修一事務局長

審議事項：第１号議案 ２０２４年度事業報告承認の件

第２号議案 ２０２４年度決算報告及び監査報告承認の件

第３号議案 当法人名称変更承認の件

第４号議案 理事。監事変更承認の件

（３）全国サポート協会 ２０２５年度理事会へ出席

* 第１回理事会

日時：２０２５年４月２３日（水）１３：００～１５：００

場所：東京都立産業貿易センター浜松町館

出席：長岡 均理事長

審議事項：第１号議案 ２０２４年度事業報告

第２号議案 ２０２４年度決算報告

第３号議案 ２０２４年度監査報告

第４号議案 理事変更

* 第２回理事会

日時：２０２６年３月６日（金）１３：００～１５：００

場所：大田区産業プラザ（ＰＩＯ）

出席：長岡洋行理事長

審議事項：第１号議案 ２０２５年度事業等の評価・反省

第２号議案 ２０２６年度事業計画（案）

第３号議案 ２０２６年度予算（案）

第４号議案 北海道・関越ブロック理事の選任

（４）第１９回関東甲越ブロック会議へ参加

主催：全国サポート協会 幹事サポート協会：山梨県知的障害児者生活サポート協会

日時：２０２５年１１月２１日（金）１３：３０～１６：３０

場所：古名屋ホテル

参加：長岡洋行理事長、吉川修一事務局長

参加団体：１都８県生活サポート協会、全国生活サポート協会、ＡＩＧ損害保険株式会社、
株式会社ジェイアイシー